

「家がいいね」 第116号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2014.1.6

幸せは何処から来るのだろうか

往く年を篝火で送り、
息災を願う気持ちで餅
を焼く大晦日の光景で
す。寒さはこれからで
すが、冬至を過ぎ確実に
に陽は長くなります。

「皆が苦しい人々の荷
を少しずつでも分かち
持つ気持ちを見失わず、助け合い、励まし合ってい
くとともに、世界の人々とも相携え、平和を求め、
良き未来を築くために力を尽くしましょう」と、
呼びかける方がいます。



「人間の生存」より
「経済の発展」を優位
に置いてきた日本の主
流に、この方は牽制球
を投げられます。日本
の良心の象徴とも言っているのではと思います。



患ひの元知れずして
病みをりし人らの苦しみいかにばかりなりし
被災地の冬の暮らしはいかならむ
陽の暖かき東京にゐて
その方を支える方も折れそうに芯の強い女性です。

左手（ゆんで）なるピアノの音色耳朶にありて
灯ともしそめし町を帰りぬ

心通わすために

動物には言葉が通
じませんが、人同様
相手を深く案じれば、
必ず心は通うと思え
る時が来ます。

あの方々は、まず
人に問いかけ聴こう
とされる、それも強
く意識されています。



在宅とは？再確認

お金で命は延ばせる
かもしれない。だが
それは超高齢でいびつ
な死の形で終わる結果
に思えます。高度医療
が誰にも等しく幸せを
もたらすとは、私には思えません。医療に見放さ
れたと考えるだけで、人生を諦めるような逆立ち
した考え方は根本的な間違いのような気がします。



幸せは、まだ足りないと思えるものではなく、
手元に残っている大事なものが、今あるものの
再確認なのではないでしょうか。その上で、何か
不安に思うことがあれば、私達のクリニックに相
談電話をしてください。必要な介護や医療のネッ
トワークに、相談から結び付くことも可能です。
長年の医療の使い方で、病院もクリニックも通
う事（急ぐ時は救急車）という往きの流れだけが
すぐ連想されますが、工夫し家に招く迎への流れ
も着実に在ると、ぜひ想い描いてくださいね。

永六輔さんの講演会！

よりよく生きるヒント

1月19日（日）午後1時
ハートプラザみその 無料
南勢志摩ケアマネ協会主催。

永さんはこの9月27日
まで、46年間「永六輔の
誰かどこかで」のラジオ
番組を1万2629回も続
けられました。同じ人での
最長寿番組です。遠藤泰子
さんは、永さんがパーキン
ソン病で不調時も傍らで支えた方です。お二人の
掛け合いが素晴らしい。講演をお世話いただいた
在宅ホスピス医の内藤いづみさんも加わります。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ http://isezaitaku.com